

平成27年度 宇佐市興農会被表彰者

(敬称略)

No.	表彰区分	氏名 (法人代表者)	住所	功績等
1	農業後継者	萩原 嘉博 はぎわら よしひろ	大字上敷田	上敷田地区も少子高齢化が進み、農業経営の将来に不安を感じている人が多いなか、農業後継者として父と共に地区農業の受け皿となり、耕作放棄地の防止に積極的に取り組んでいる。また、地域づくりにおいて防災士の資格を取得し、生活環境部会にて活動している。
2	農業後継者	芦原 祥二 あしはら しょうじ	大字南宇佐	大学卒業後に宇佐へ帰郷し、JAへ就職していたが、知人と共同して小ねぎ栽培を志し、平成24年に退職。順調に経営実績を伸ばしている。これからも「農業を通じ地域に貢献したい」という強い思いで、規模拡大に向けた営農を展開している。
3	農業後継者	永岡 卓己 ながおか たくみ	大字長洲	大学卒業後、サラリーマンとして生計を立てていたが、地域農業が衰退していく中で、一念発起しH25年より新規就農の道を志す。地域における中心経営体としての役割は勿論、有機による生産作物の高付加価値化やインターネット販売に意欲をみせ、自身の経営向上にも積極的に取り組んでいる。
4	農業後継者	佐藤 晃 さとう あきら	大字金屋	高校卒業後、地元の企業に就職し兼業農家として地域農業に携わっていたが、担い手不足が顕著となる中で、H24年より専業農家への道を志す。地域農業の中心経営体として期待も大きく、更なる経営規模拡大が見込まれている。
5	優良生産農家	緒方 譲二 おがた じょうじ	大字上元重	平成10年頃から自作の農地を中心に地域の農業後継者として営農を開始した。その後、平成12年頃から面積拡大が進み、平成22年に認定農業者となりうさファーマーズ役員として活躍している。現在も条件の悪い農地をも積極的に受託し、地区の荒廃地を解消する足掛かりとなり、地区内荒廃地の解消につながっている。
6	優良生産農家	松田 律男 まつだ りつお	大字畑田	認定農業者として農業に意欲を燃やし、高齢化や後継者不足による耕作放棄地を積極的に借入れている。またできるだけ農薬の使用を抑えるなど環境にも配慮しつつ、生産性の高い農業を行っている。また畑田環境保全組合の役員として、地域全体の農地や周辺環境の保全整備に携わっている。
7	優良生産農家	幡手 一義 はたて かずよし	大字下矢部	昭和51年に農業大学校を卒業後、39年間農業に従事している。研究熱心で、就農当初から農業者組織等に積極的に参加して栽培技術の向上に励んでいる。現在は地域の中心的農家として、また(農)下矢部のオペレーターとして重要な役割を担っている。さらに、中山間事業や多面的交付金事業において役員を務め、地区の農地保全に尽力している。
8	優良生産農家	津々見 一秋 つづみ かずあき	大字西高家	高校卒業後、県内の会社に勤めながら農業を行ってきた。50代後半からは西高家地区の高齢農家等の水田を率先して耕作し、営農組合設立時から中心的な役割を担ってきた。現在、認定農業者となり地区の耕作放棄地の解消に多大な貢献を果たしている。また西高家地区農地・水環境保全組合の会長として尽力している。
9	優良生産農家	今仁 俊朗 いまに としろう	大字今仁	平成24年より専業農家となり妻と共に農業に勤しんでいる。地区では農業経営の将来に不安を感じている人が多いなか、認定農業者として地域農業の受け皿となり、耕作放棄地の防止等に積極的に取り組んでいる。また、営農組合の事務局長や水利委員長等も務め、地域に貢献している。

No.	表彰区分	氏名 (法人代表者)	住所	功績等
10	優良生産農家	いまに 文則 今仁 文則	大字今仁	平成25年より専業農家となり、高齢化や担い手不足が進む今仁地域農業の中心的な担い手として活躍している。農業に対する考え方も前向きで、他の農家の模範となっている。 また下今仁・上今仁・上佐野地区の水利委員長を歴任し、現在は下今仁地区の事務局（会計）を務め、地域に貢献している。
11	優良生産農家	おおの しゅうさく 大野 修作	院内町御沓	平成11年より会社員から専業農家となり、高齢化や担い手不足が深刻な中山間地域農業の中心的な担い手として活躍している。また、年々耕作放棄地が増加しているなか、地域の耕作放棄地の解消に尽力している。 中山間地域等直接支払事業の事務局役員を長年務め、地域に貢献している。
12	優良生産農家	ともた あきひこ 友田 明彦	安心院町 折敷田	平成13年に妻と共にIターン就農し、ぶどう栽培を始めた。何事にも研究熱心でリーダー的存在であり、JA安心院事業部ぶどう部会副部長、ぶどう部会研究部長に就任している。大分県指導農業士も務めており、他の農家の模範となっている。今年度、全国ブドウ研究大会大分県大会では視察園に選ばれ、全国のぶどう農家にその技術の高さを示している。
13	優良生産農家	おの つぎのぶ 小野 次信	安心院町平山	昭和42年にぶどう栽培を始めた。研究熱心で、宇佐市でもいち早くピオーネやシャインマスカットを導入して独自に試験栽培等を行っており、多くの栽培技術が部会のぶどう栽培マニュアルに反映されている。JA安心院事業部ぶどう部会副部長、大分県指導農業士を歴任し、他の農家の模範となっている。今年度、全国ブドウ研究大会大分県大会では視察園に選ばれ、県内はもとより全国のぶどう農家にその技術の高さを示している。
14	農業生産法人等	すみのええいのうくみあい (農)住江営農組合 代表理事 たけした りゅういち 竹下 隆一	大字住江	任意の集落営農組織を起ち上げ、集落営農を行っていたが、平成18年に法人を設立し、高齢者等の農地を借り受けて集落営農を展開している。地域内の大規模農家と共存しながら、地域農地の受け皿として貢献している。
15	農業生産法人等	ひろすええいのうくみあい (農)広末営農組合 代表理事 きよすえ つよし 清末 強	大字高砂新田	任意の集落営農組織で農業を行ってきたが、高齢化等による集落の担い手不足により耕作者が減少するなか、地区内農地を守り集落営農を展開させるために平成19年に法人を設立した。オペレーター型の法人であり、地域の担い手としての役割は大きい。
16	農業生産法人等	えすか (農)江須賀 代表理事 まない きよし 真内 清司	大字江須賀	任意の集落営農組織で農業を行ってきたが、高齢化等による集落の担い手不足により耕作者が減少するなか、地区内農地を守るために平成20年に法人を設立した。地域農業の受け皿として、今後さらに利用権設定・受託面積を増やし、集落全体の農地の受委託を目指す組織である。